

県内で麻しん(はしか)が発生しています。 予防接種で感染を防ぎましょう!

▶麻しん(はしか)

麻しんは気道分泌物の中に含まれるウイルスを介して感染する感染症で、治療は対症療法になります。

麻しんは感染力が強く、免疫のない人が感染を受けるとほぼ100%発症し、39℃以上の高熱と発疹、咳、鼻汁、結膜充血などが主な症状です。

千葉県では、今年24名の麻しんが発生しています。(平成28年10月31日現在)



▶麻しん(はしか)の発生状況

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
千葉県	23	20	25	0	24
全 国	238	229	462	35	155

平成28年の千葉県分は10月31日現在、全国は10月23日集計。

▶麻しん(はしか)の予防接種

麻しんの予防には、あらかじめワクチン接種により免疫をつけておくことです。

○定期接種の対象者・接種回数

	対象者	接種回数
第1期	1歳以上2歳未満	1回
第2期	5歳以上7歳未満で小学校入学前の1年間	1回

※ 免疫の獲得には2回のワクチン接種が必要です。

※ 詳細については、お住まいの市町村予防接種担当課にお問い合わせください。



○定期接種対象者以外の方

「麻しん(はしか)にかかったことがなく、ワクチンを1回も受けたことがない人」は、かかりつけの医師にご相談ください。

医療従事者や学校関係者・保育福祉関係者等、麻しんにかかるリスクが高い方や、麻しんにかかると周りへの影響が大きい場合、流行国に渡航する場合で、予防接種歴1回の方は2回目の予防接種について、かかりつけの医師にご相談ください。

お問い合わせ 千葉県健康福祉部疾病対策課感染症予防班 TEL 043(223) 2691(直通)

ノロウイルスによる胃腸炎にご注意を

ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は、秋から冬にかけて増加します。ノロウイルスに対する知識を身につけ、感染を予防しましょう。

▶ノロウイルスの感染経路

- ・汚染されていたカキなどの二枚貝を、生や十分に加熱調理しないで食べた場合
- ・食品取扱者が感染していて、その者の手などを介して汚染された食品を食べた場合
- ・感染しているヒトの便や吐物に触れた手などを介して感染した場合

▶予防のポイント

- ・調理の前や食事の前、トイレの後などには、手を十分に洗いましょう。
- ・食品を加熱する場合は、中心部まで十分に加熱しましょう。
- ・下痢やおう吐などの症状がある方は、食品を直接取り扱う作業をしないようにしましょう。
- ・嘔吐物や便の処理には使い捨てのビニール手袋やマスクを着用し、処理後の床や患者が触れた場所などは適切な濃度の塩素系消毒剤で消毒しましょう。

※ ノロウイルスによる胃腸炎の主な症状は、おう吐・下痢・腹痛などです。これらの症状がある場合には、早めに医療機関を受診しましょう。



お問い合わせ 県衛生指導課(食品衛生県民ダイヤル) TEL 043(221) 6000

インフルエンザを予防しましょう

インフルエンザは、突然の高熱、頭痛、関節痛など、普通の風邪に比べて全身症状が強く、気管支炎や肺炎などを合併し重症化することが多いので、体力のない高齢者や乳幼児などは、特に注意が必要です。

ワクチンの予防接種には、発症をある程度抑える効果や、重症化を予防する効果があり、罹患すると重症化する可能性が高い方には効果が高いと考えられます。

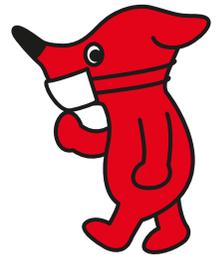
▶インフルエンザを予防するために、次のことを心がけましょう。

- ・流行前の予防接種
- ・十分な栄養と休養をとる
- ・適度な湿度(概ね50～60%)を保つ
- ・外出時のマスク着用
- ・まめな手洗い・うがい

▶県では他の人にうつさないための「咳エチケット」を推奨しています。

- ・咳、くしゃみが出る時は、マスクを着用しましょう。
- ・マスクがない時は、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて1メートル以上離れましょう。
- ・鼻汁、痰などを含んだティッシュは、すぐごみ箱に捨てましょう。
- ・咳をしている人にマスクの着用をお願いします。

お問い合わせ 千葉県健康福祉部疾病対策課 TEL 043(223) 2691



千葉県マスコット
キャラクター
チーバくん